

# 夏まるかじりツアー

8月9日(火) ~ 8月11日(木)

IN 国立曽爾青少年自然の家

	午前	午後	夜
1日目	施設向け出発	川遊び	ナイトハイク
2日目	野外炊飯	ハイキング	キャンプファイヤー
3日目	清掃・工作	施設を出発・解散	

一日目： 尼崎駅に44名の元気なメンバーが集まりました。駅にてグループ分けを行い、バスに乗り込みました。少し緊張する姿も見られましたが、徐々にグループで会話が弾み、到着する頃には大はしゃぎでした。昼食後は皆が楽しみにしていた川遊びへ向かいました。荷物整理や着替えを済ませ、早速川遊びが始まりました。最初から臆することなくじゃぶじゃぶと川へ入り、リーダーや友達とともに楽しそうに遊んでおられました。その後、施設に入所し、オリエンテーションをしました。そして夕食後は、満天の星空の下、ナイトハイクを行いました。北斗七星や星座を探したり、虫の鳴き声や風の音に耳を傾けたり、昼間とは違う自然を満喫しました。その後、グループごとに部屋の看板作りを行い、就寝しました。



二日目： 野外炊飯、ハイキング、キャンプファイヤーとプログラムが盛り沢山です。どのグループも朝の準備を素早く済ませ、早く活動を始めることが出来ました。野外炊飯では、カレー係、かまど係、お米係の3つに分かれました。カレー係は、人参やじゃがいもなどの固い野菜を切るコツを少しずつつかみ、とても上手に切っておられました。かまど係は、よく燃えそうな木の枝を沢山探し、火がついてからも熱い中、うちわで火の調節を頑張っておられました。お米係は、お米を一粒も落とさないように慎重に洗い、仕事が早く終わると、他の係のお手伝いを率先して引き受けておられました。一人一人がテキパキと行動した甲斐あって、予定よりも早くカレーライスが出来上がりました。自分達で作ったカレーライスを皆とても美味しく、そしてあっという間に平らげました。片付けを終え、部屋で休憩した後、ハイキングに行きました。ススキの道は湿度が高く、丘の上に着いた時には疲れ切っているメンバーも多かったのですが、風に吹かれるととても涼しく気持ち良さそうでした。最後の夕食を済ませ、まだ少し明るいうちからキャンプファイヤーを行いました。円の真ん中の火が燃え上がると、皆一気に盛り上がり、その後のゲームやダンスも思いっきり楽しみました。

三日目： チェックアウトの時間が早く慌ただしい朝でしたが、眠い目をこすりながらグループで協力してシーツを畳みました。部屋の荷物をまとめ、3日間過ごした施設を大掃除しました。自分達の部屋が終わると「次はどこを掃除したらいい？」と率先して尋ね、共有スペースの掃除もテキパキと終わることが出来ました。その後場所を移動し、思い出工作をしました。ここでは、じっくりと考えて作る時間があった為、グループごとに3日間を振り返り、自身が一番心に残ったことを焼き板にしました。焼板をブラシで磨き、ススを落としたり絵を描いていきます。それぞれ全く違うシーンや絵を描き、一人一人の個性が溢れていました。工作を終え、昼食までの時間は最後のグループタイムでした。外で鬼ごっこやかくれんぼをしたり、室内でだるまさんがころんだをしたり、グループで最後まで楽しんでおられました。昼食後、バスに乗り込み施設をあとにしました。

## <キャンプ総括>

今年は、例年にない晴天続きの三日間でした。プログラムも全て予定通りに行うことができ、盛り沢山の三日間だったのではと思います。今回は『グループ行動』、『時間を守る』、『全力で楽しむ』という3つの目標を掲げました。最初は初めましてばかりの中で口数が少なかったメンバーもおられましたが、周りの和気あいあいとした雰囲気の影響され、だんだん笑顔が増えていき、一日目の夜には、どのグループも部屋で団欒する姿が見られました。それぞれのプログラムに対する意識が高く、「はやく始めたい!」「やってみたい!」という気持ちが集合にも表れていました。例年に比べ高学年も多く、年下メンバーを上手にサポートする姿も見られました。3日間、大きな体調不良なく、笑顔で過ごすことができた事が何よりも良かったです。(児谷 なつみ)